

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公開番号】特開2007-248666(P2007-248666A)

【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-037

【出願番号】特願2006-70262(P2006-70262)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 6 5

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 15/08 5 0 7 L

G 0 3 G 15/20 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

少なくとも、外部より帯電部材に電圧を印加し、静電潜像担持体に帯電を行う帯電工程と；帯電された静電潜像担持体に静電潜像を形成する潜像形成工程と；トナー担持体に担持されたトナーにより静電潜像を現像してトナー画像を静電潜像担持体上に形成する現像工程と；静電潜像担持体上のトナー画像を中間転写体を介して、又は介さずに転写材に転写する転写工程と；転写材上のトナー画像を加熱加圧手段により定着する定着工程とを有する画像形成方法において、

該現像工程は静電潜像担持体とトナー担持体表面に担持されているトナー層とが直接接触して現像が行われる一成分接触現像方式であり、

該トナーは、少なくとも重合体微粒子、着色剤微粒子、結晶性ポリエステル微粒子、及びワックス微粒子を凝集して微粒子凝集体を形成する工程及び該微粒子凝集体中の微粒子間の融着を起こさせる熟成工程を経て得られる乳化凝集法トナーであり、

該結晶性ポリエステルの重量平均分子量  $M_w$  が 1 0 0 0 以上 5 0 0 0 以下であり、

該ワックス成分は融点が 4 5 ~ 7 5 のワックスであり、

該トナーのメタノール濡れ性における透過率 5 0 % のメタノール濃度（体積％）の値が 3 0 ~ 7 0 % であることを特徴とする画像形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

更に、本発明は、少なくとも、外部より帯電部材に電圧を印加し、静電潜像担持体に帯電を行う帯電工程と；帯電された静電潜像担持体に静電潜像を形成する潜像形成工程と；トナー担持体に担持されたトナーにより静電潜像を現像してトナー画像を静電潜像担持体上に形成する現像工程と；静電潜像担持体上のトナー画像を中間転写体を介して、又は介さずに転写材に転写する転写工程と；転写材上のトナー画像を加熱加圧手段により定着する定着工程とを有する画像形成方法において、

該現像工程は静電潜像担持体とトナー担持体表面に担持されているトナー層とが直接接触して現像が行われる一成分接触現像方式であり、

該トナーは、少なくとも重合体微粒子、着色剤微粒子、結晶性ポリエステル微粒子、及びワックス微粒子を凝集して微粒子凝集体を形成する工程及び該微粒子凝集体中の微粒子間の融着を起こさせる熟成工程を経て得られる乳化凝集法トナーであり、

該結晶性ポリエステル重量平均分子量  $M_w$  が 1 0 0 0 以上 5 0 0 0 以下であり、

該ワックス成分は融点が 4 5 ~ 7 5 のワックスであり、

該トナーのメタノール濡れ性における透過率 5 0 % のメタノール濃度（体積％）の値が 3 0 ~ 7 0 % であることを特徴とする画像形成方法に関する。